



2011 年度第 8 回常任理事会議事録

本常任理事会は、案内上第 7 回としたが、第 7 回は 10/15 開催予定分であり、会場の筑北村本城体育館の改修工事に伴い中止とした。従って本常任理事会は第 8 回とした。

1. 開催日時(場所)

2011 年 11 月 12 日(土) 17:06～21:45 (塩尻市総合文化センター 112 学習室)

2. 常任理事会成立の条件

長野県フットサル連盟規約 Rev12 第 22 条「常任理事会の定足数」(3 名以上)により、下記出席者を以って長野県フットサル連盟常任理事会として成立条件を満たしている。

出席者(敬称略):

滝澤正, 竹下英三, 菊地智之, 柳澤健司, 萩原慶一郎

従って、下記議事内容は常任理事会として成立したので、採決結果を含め議事録として記録する。

3. 付議内容

長野県フットサル連盟規約 Rev12 第 20 条に規定されているとおり、事前に通知された案内(11/04 発信 Rev01)に記載された付議内容は以下であることが確認された。

■ 報告事項

- [1] 長野県Fリーグの問題点と改善策について(状況報告)
- [2] 全日本関連大会経過報告
- [3] バーモントカップ開催状況について
- [4] 第 06 回長野オープン U23 選抜大会について

■ 協議事項

- [1] 役員配置について(11/26～27, 12/03～04)

■ 追認事項

- [1] 長野県少年フットサル大会東信地区からのクレームについて
- [2] 年越しフットサル大会について
- [3] 大学カップ戦について(継続)

4. 配布資料の確認

事前に配布されている資料無し。しかし、報告段階で資料の提出があった。

今後は、事前に必要な資料を常任理事会開催前までにメールで配布し、資料の事前確認を行い、会議にかかる時間をできるだけ短時間に効率よく行うことが確認された。

5. 報告事項

[1] 長野県Fリーグの問題点と改善策について(状況報告)

前回常任理事会の追認事項で決定した、ポアールス長野の懲戒処分として、明日開催予定の北信越フットサルリーグ第10節(信州スカイパーク体育館)の運営協力を行うことに決まったが、県リーグ運営委員長からチーム代表者宛ての連絡が行われているのか否か不明なため、確認があった。

- 県リーグ運営委員長によれば、09/25開催した県リーグ第7節、ポアールス長野代表竹内氏に書面で通告したとの報告が口頭であった。この事実を今後は常任理事宛てMLに報告するよう指示した。

県リーグ運営規約の改版について、進行状況の確認があった。

- 第09回常任理事会に、初版を県リーグ運営委員長より提出、第10回で常任理事の承認を得て、2月中に県リーグ運営委員会を開催し、2012/04/01適用のスケジュールを確定した。

県リーグの試合結果を公式記録の開示を以って行うことの提案があったが、その進行状況について確認があった。

- 公式記録は開示せず、県リーグ運営委員長が管理保管することとした。また、次年度以降の県リーグにおいて、FDS(Futsal Data System)の導入検討が確認された。現在、北信越リーグでは導入済みでその費用対効果を確認し、県リーグ運営委員会で協議することとした。

一部選手から、県リーグの派遣審判に対する批判(判定の曖昧さ、また、派遣費用をチームから捻出して実施していることに対する不満など)があったが、その対処に対する進捗の確認があった。

- 本件は常任理事会では保留とした。県リーグ運営委員会で別途協議のこと。

[2] 全日本関連大会経過報告

PUMA およびバーモント以外の大会は、決算処理こそ残務としているが、滞りなく完了した。次年度の大会スケジュールを立案し、12月上旬にはフットサル委員会へ提出することとした。

[3] バーモントカップ開催状況について

申込み締め切り以降(11/12 09:00)で 54 チームからの参加希望があった。当初予定していた 64 チーム(4 チームの 16 ブロックリーグ)には届かなかった。ブロックあたりのチーム数を 4 チームとした場合、2 チーム足りない状況であるが、3 チーム*18 ブロックで開催する【ケース 1】のか、2 チーム追加して 4 チーム*14 ブロック開催する【ケース 2】のか決定する必要がある。

決勝リーグへは 32 チーム(4 チーム*8 ブロック)進出させたい。

【ケース 1】の場合、ブロック 1 位の 18 チームと、ブロック 2 位のうち上位 14 チーム

【ケース 2】の場合、ブロック 1 位の 14 チームと、ブロック 2 位の 14 チーム(計 28 チーム)と、ブロック 3 位の上位 4 チーム

大会実行委員会は【ケース 2】を採用した。残り 2 枠は大会担当の柄沢氏から参加検討頂いているチームの結果をもって、その対策の可否を検討することとした。

大会要項は Rev04 に改版し、参加チーム宛てに公開することとした。

[4] 第 06 回長野オープン U23 選抜大会について

大会は翌 03/17(土)~19(月)の 3 日間開催とし、南長野運動公園体育館を 3 日間、戸倉体育館を 2 日間とした。南長野運動公園体育館は滝澤が 11/02 に訪問し、03/17 8:30 から 03/19 19:00 まで予約を完了した。会場使用料は 2 月に入った時点で支払うことになった。

また、戸倉体育館については菊地常任理事が担当し、当初予約していた 03/18(金)をキャンセルした。協賛活動として、11/09 ながのコンベンションビューロー様に訪問し、本年度の協賛金(¥160K)の手続きを行った。

トレーニングに関しては萩原常任理事が担当となり、次月から開始予定。これから会場確保並びに選手選考のフェーズに入る。

6. 協議事項

[1] 役員配置について(11/26~27, 12/03~04)

11/26~27 は、バーモントカップ(ながたドーム)と全日本女子ユース(U15)北信越大会(南長野)が、12/02~03 は、PUMA CUP 長野県大会(南長野と望月体育館)と全日本ユース(U15)北信越大会(富山県竹平記念)が日程重複するため、役員の配置を以下に決定した。

バーモントカップ(ながたドーム):竹下大会実行委員長, 柳澤常任理事, 菊地常任理事

全日本女子ユース(南長野):菅原副会長(北信越連盟理事長として), 滝澤(審判員兼務として)

PUMA CUP:望月会場は菊地常任理事(大会担当および会場責任者), 柳澤常任理事(補佐)。南長野会場は、滝澤(審判員兼務), 竹下大会実行委員長(会場責任者), 萩原常任理事

また、11/23 バーモントカップ予選リーグの 2 会場については以下とした。

ホワイトリング(4 面):菅原, 柄沢, 柳澤, 萩原。南長野(2 面):滝澤, 竹下

その後、PUMA CUP 二次ラウンド参加チームの代表者会議を南長野で 17:00 より開催する。

7. 追認事項

[1] 長野県少年フットサル大会東信地区からのクレームについて

事情が菊地常任理事(東信フットサル連盟理事長兼務)より説明があった。

大会担当者から事前に、各地区担当者宛ての連絡をメールで行っていたが、そのメールを見落としていたことが原因で、参加申込みされたチームに対するフォローアップが不完全な状況であった。

この事態を東信フットサル連盟理事長は、大会担当者に向けて「事前に通知する」ようクレームを上げたが、事実確認を怠っていたため、大会担当者と東信地区との間で、認識に食い違いを生じた。

東信フットサル連盟理事長より、口頭で謝罪があり、本件はクローズとした。

[2] 年越しフットサル大会について

大会詳細をフットサル委員会に確認し、連盟としての参加可否を検討することとした。

[3] 大学カップ戦について

大学のみならず、高校生も包含し、大会を開催する方向で調整中。

8. 次回常任理事会開催について

第9回常任理事会は12/10(土) 18:00～筑北にて開催する。

以上
(文責:滝澤 正)